

	発行者の略号	東書	教出
	書名	新しい社会 地理	中学社会 地理 地域に学ぶ
ア 教科・種目に共通な観点	① 編集の趣旨と工夫	①「主体的・対話的で深い学び」を通じて、持続可能な社会の実現を目指す。また、社会的な見方・考え方を働かせ、課題解決的な学習のプロセスを取り入れることにより考える力を育成する工夫がされている。	①「学校だけではなく、家でも楽しめる教科書」をテーマに掲げ、グローバル化時代を生きる地理学習のための工夫が紙面・内容に見られる。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①中学校社会科で習得すべき知識などを発達段階に応じて盛り込んである。特に、つまずきやすい事項は、巻末の「用語解説」で補足説明がある。技能では、「スキル・アップ」という項目において、資料の読み取りや、調べ学習の手法が紹介されている。 ②単元内で対話的な学習の場面を設けることで、思考力・判断力・表現力を活用して積極的に社会参画し、他者と協働しながらよりよい社会を築こうとする意識と態度を養う工夫がされている。 ③教科書第3章日本の諸地域では、日本各地の人々が自分たちの仕事や生活の様子を語るインタビューの場面が充実しており、勤労観や社会参画の意識を高める工夫がされている。	①冒頭の「地理へのアプローチ」で地図やグラフの見方などが解説されており、知識・技能の習得が補助されている。 ②見開きにある「読み取ろう」や「確認!」、「表現!」で思考力・判断力・表現力を鍛えられるような発問が工夫されている。 ③各見開きのタイトルには学習を自分事としてとらえることを目指して主題、副題が設定されており工夫されている。
	(4) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	地域学習では身近な地域の将来像について話し合ったり発表し合ったりする対話的な場面を充実させることで、主体的・協働的に参画する意識を養うことができるため、各市町の方針に関連している。	地域調査の部分では課題をとらえて調べ、地域に発信する流れとなっており各市町の方針にも合致している。
イ 教科・種目別の観点	(7) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①小集団での参加型学習「みんなでチャレンジ」を設けることで、話し合いなどの対話的な活動を通じて多様な意見に触れながら学習を深めることができる。 ②環境問題や自然地理学では理科とリンクするところがあり、食文化、諸地域の言語にも触れていることから家庭科や英語などにも関連性が見られ横断的に学習ができる。小中の系統性、3分野の関連にはマークがある。 ③小集団での参加型学習が取り入れられていることにより、概ね良好といえる。 ④教科書内には、重要文化財・世界自然遺産・文化遺産・無形文化遺産にマークがついていることで視覚からのアプローチができる。 ⑤写真や図を効果的に用いることにより、調査、見学などの興味・関心を惹くような工夫がなされている。 ⑥各単元の導入部に、小学校で学習した用語や写真で振り返るページが設定されているため、小・中の学習を円滑に接続することができる。 ⑦具体的な資料を使う「スキル・アップ」で身につけた技能を活用することで、情報収集能力や読み取り、まとめの技能が養われる。 ⑧地理の学習の中で必要不可欠なことや、生徒がつまずきやすい事象については、巻末の「用語解説」で簡潔な説明を加えることで自ら補足することができる。 ⑨社会科以外の教科でも既習事項の内容にはマークをつけることで、他教科の学習との連携を通して、社会的事象や現代的な諸課題を取り入れることにより、より深く理解することができる。	①見開きごとに「学習課題」と「確認/表現」が設けられ、章・節ごとに「学習のまとめと表現」が用意され主体的、対話的な学習ができるよう工夫されている。 ②他教科ではなく、分野ごとのつながりや小中高のつながりについては、見開きごとの「関連」などで示す工夫がされている。 ③キャラクターの言葉で、資料について言語化されており育成につながっている。 ④「地理の窓」や世界の州や日本の地方学習で、各地の伝統や文化に関する記述、写真が多数あり充実している。 ⑤「地理の技」で地図やグラフにふれたり書いたり活用する機会が設定され、体験活動の充実がはかられている。 ⑥特色として「小学校・中学校・高等学校の学びのつながりを意識した内容・構成」が紹介されており円滑な接続が促されている。 ⑦編ごとのタイトルページに「まなびリンク」としてインターネットを利用して学びを広げられるサイトが紹介され、情報活用能力の育成につながっている。 ⑧支援教育やユニバーサルデザインの視点を大切にしている。 ⑨本時ページ、その他のページ、折り込み資料などに生徒の興味・関心を引きつける工夫、各ページに段階ごとの問いが用意されている。
	(8) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②概ね良好である。 ③写真や絵図が多く使用されていて生徒の興味・関心を惹き出す工夫がされている。	①概ね適切である。 ②写真やイラストが適度に配置されており、目次が見やすいように工夫されている。 ③概ね良好である。
	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。 ② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。 ③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	①地理的分野の教科書の図版との連携を図る一方で、歴史的な分野、公的的分野の学習とも連携したページや資料を設けてマークをつけることによって社会的事象を多面的・多角的に考察させることができる。 ②各単元の学習を、単元全体を貫く問いである「探求課題」と、その解決を補助する問いである「研究のステップ」、1単位時間の学習のめあてである「学習課題」の3段階の問いで構造化し、細かいステップで課題を解決していくことで、多面的・多角的に考察・表現することができる。 ③地理的な見方・考え方を、「探求課題」→「探求のステップ」→「学習課題」→「チェック&トライ」に反映することで、「深い学び」＝追究・解決する活動へとつながる。	①世界地誌の学習では「地理的分野とSDGs」をテーマとした内容が扱われており、意識して学習できるように工夫されている。 ②「ヨーロッパ州」の学習に見られるように、物事を一面的にとらえるのではなく批判的に読み解くような工夫が各所に見られる。 ③編、章、節、1単位ごとに課題、確認、表現などの流れが用意されており、最後の地域学習ではとらえ、調べ、発信することで、それまでの活動のまとめができるように工夫されている。

	発行者の略号	帝国	日文
	書名	社会科 中学生地理 世界の姿と日本の国土	中学社会 地理的分野
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	異文化理解や国土理解から、深い学びにつなげ、グローバル化する国際社会の中で生き、各地に見られる諸課題の解決に向けて主体的に取り組む力を育む工夫がされている。	「新しい時代の主権者を育てる教科書」として、生徒の確かな成長と国際理解の深まりを願い、地理的な見方・考え方を働かせながら世界や日本を多面的・多角的にとらえ、公民としての資質の基礎を養えるようにしている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①さまざまな地域の実社会の人々の具体的な話を紹介するコラム「声」や写真資料から、勤労を重んじる態度を養えるようになっている。 ②「未来に向けて」では、環境、防災、共生を主題としたコラムがあり、持続可能な開発目標の意義を理解することができるようになっている。 ③人々の営みを映し出す画像・イラスト地図により、学びに向かう意欲を涵養できる資料が豊富である。	①単元の終わりごとに「学習のまとめ」を作り、学んできた学習内容のまとめができるように工夫されている。 ②「チャレンジ地理」「アクティビティ」のページを設け、シミュレーションやディベートなどの題材が提示されており思考力・判断力・表現力を育成するための工夫がされている。 ③「自由研究」のページを設けて日本や世界のことを身近に感じられる課題や資料を提供したり、「チャレンジ地理」で自分のこととして考えさせる課題を提供したり工夫されている。
	(イ) 市町の方針との関連 ① 小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	「地域のあり方」でも持続可能な社会を実現する例として提示してあるため、より具体的に地域のあり方を構想することが期待できるようになっている。	概ね良好である。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ② 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③ 言語能力の確実な育成 ④ 伝統や文化に関する教育の充実 ⑤ 体験活動の充実 ⑥ 学校段階間の円滑な接続 ⑦ 情報活用能力の育成 ⑧ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①コラム・特設ページでバラエティにとんだものが紹介されている。 ②理科との関連や道徳的な配慮事項をふまえて題材や写真が吟味されている。 ③章（節）の学習を振り返ろうや確認しよう、説明しようで言語活動備えた学習のふりかえりの場面がある。 ④さまざまな写真資料や、読み物資料が掲載されている。 ⑤身近な地域の調査の方法や展開などが示され、社会参画や体験を考慮するような工夫がされている。 ⑥小学校の学習をふりかえる「問い」を糸口に中学校の学習に結びつけ、各本文ページの下端に小学校での既習事項が掲載されている。 ⑦「技能をみがく」で基礎的な技能を学べ、資料活用の問いから活用できるようになっている。二次元コードの利用で、資料の一部をパソコン等で、閲覧でき、生徒にとっての理解しやすさを向上する工夫がされている。 ⑧識別しやすい色を使用、線種を変えるなどの工夫があり、色以外の情報からも読み取れる。ユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ⑨章や節、各本文ページの冒頭の問いから学習の内容に見通しがもてる工夫がされている。	①単元を通して実現できるように構成されている。（導入部分では写真を多く用い、主題の焦点化）→（単元のあらましをつかむ）→（前時の学習に基づきテーマを追求する）→（最終的に振り返る）という流れを設定することで単元を通じて、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がされている。また、「アクティビティ」のページを設け、ディベートなど主体的・対話的な学習が行いやすい工夫がなされている。 ②ページの下の部分に他教科の学習内容に関係していることが書かれている。 ③ディベートの課題を提示しているページでは、他社の意見に対し、自分なりの反対意見を考えるような課題設定がなされている。また、巻末に用語解説のページがあり、重要語句が開設されている。 ④世界の諸地域の文化や日本の各地の伝統が写真などを扱い説明されている。 ⑤小単元が終わるごとに、ディベート、作図、アクティビティ、自由研究など既習事項を活かした体験活動のすすめが書かれている。 ⑥ページの下の部分に小学校で学習した内容に関係していることが書かれている。 ⑦グラフが多く掲載されており、比較がしやすくなっている。また、「スキルUP」というグラフの読み取り方について書かれている記事がある。また防災学習においてハザードマップの読み取りなどが書かれている。また、デジタルマークが付いており、WEBページのコンテンツにつながるような設定になっている。 ⑧ユニバーサルデザイン（フォント、カラー）などの工夫されている。 ⑨単元の導入部分にある、写真の資料で比較をさせてクイズ形式で質問するなど工夫が見られる。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね適切である。 ②概ね良好である。 ③概ね良好である。	①概ね適切である。 ②インデックスによって色分けされていて、見つけたいページが見つけやすくなっている。 ③概ね良好である。ルビの書体などにも工夫がなされている。	
イ 教科・種目別の観点	① 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①「見方・考え方」とは何かが端的に理解できるような写真や資料をキャラクターが会話することを通して、見方・考え方はどのようなことなのかを捉えやすくする工夫がされている。	①巻頭に社会的な見方・考え方とは何かを説明するページがあり、本文のページにもタイトルの下に必ず見方・考え方のポイントが書かれており、配慮されている。
	② 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②「章（節）の問い」の答えへの論理的な説明や、地域の特色に対する多面的・多角的な考察に取り組むことができ、また、世界、日本の諸地域では、模式図を使って学習内容を整理する活動を通じて、考察を深めるような工夫がされている。	②「ヨーロッパ州」の単元ではEUの課題などが明確に書かれている。「日本の諸地域」の「北海道地方」では本文の横に九州地方と比較するポイントが明確化されている。また「地域課題解決」の中でも多面的に考える大切さが書かれており、多面的多角的に考える工夫がされている。
	③ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③「節の学習を振り返ろう」では地域に見られる課題の解決に向けて考えを深める活動が行える。また、学んだ地域の課題と自分たちとの関わりを意識させるコーナーも設けられている。	③「地域のあり方」という章を設け、地域課題を解決するために手法が説明されている。